

科目名称	母性看護学概論	学年学期	単位数	時間数
		1 学年前期	1	15
担当教員	矢野 良子	授業に関わる 実務経験	☒ 有（助産師） ☐ 無	

【1】授業概要

母性看護の対象の特徴を理解し、母性の一生を通じた健康の保持・増進を目指した看護について学ぶ。母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状を知り、社会背景を視野において、母性看護の機能と役割を考えることができる。

【2】学習目標

- 母性看護の概念、リプロダクティブヘルス／ライツにおける母性看護の意義と役割について理解し、説明できる。
- 人間の性と生殖について理解し、説明できる。
- 母性看護における倫理について理解し、説明できる。
- 母性看護の動向と法律・施策について説明できる。
- 母性のライフサイクルと各期の対象の特性と健康問題・看護について説明できる。
- 母子保健・医療・福祉チームにおける看護の役割について説明できる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- ☒ 1. 生活者としての人間の理解
- ☒ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- ☒ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- ☐ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- ☒ 5. 多職種との連携・協働
- ☒ 6. 地域医療の理解と生活の支援
- ☒ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	母性看護の対象と母性看護の特徴 セクシュアリティとは 女性の社会的側面	講義
2	女性の身体的機能 母性についての理解 母性看護における倫理	講義
3	リプロダクティブヘルスに関する世界・日本の動向	講義
4	リプロダクティブヘルスに関する施策	講義
5	リプロダクティブヘルスに関する法律	講義
6	リプロダクティブヘルスケアについて	講義
7	女性のライフサイクル各期における健康問題と看護	講義
8	試験・まとめ	

【5】授業評価

科目評価は、筆記試験、授業態度で総合的に評価する。

【6】教科書

系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学 1 母性看護学概論, 医学書院, 2020

【7】参考書

【8】受講生へのメッセージ